

発行：港区議会議員 阿部 浩子

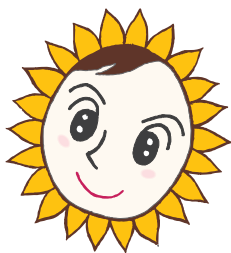
住所：港区麻布十番 2-4-1-201

URL：http://www.hiroko-abe.com

TEL/FAX：03-3452-2028

E-mail：info@hiroko-abe.com

議会控室：tel.3578-2939 fax.3578-2949



あ べ ひ ろ こ

阿部 浩子

ひまわり通信



2018 年 11 月 1 日発行

西日本を中心とした豪雨災害、大阪や北海道での地震と、今年は自然災害の多い年です。

私は、消防団員、防災士として区民の生活と命を守る決意です。

国会では政治分野の男女共同参画推進法が可決されました。

真の男女平等、すべての基本的人権が尊重される社会をつくっていかねばなりません。

しかし、東京医科大学の入学試験では女子の点数を操作し、男子を有利にしていたことが明らかになりました。男女平等が進んでいるようにみえても、実際にはそう思い込まされているだけかもしれません。

さて、社会保障の充実の名目であった消費税ですが、来年10月から10%への引上げが予定されています。しかし、医療費の負担増、生活保護の引き下げ等、国の方針は社会保障充実ではなく、国民の暮らしを破壊しています。

消費税は、特に生活の厳しい人には大きな負担になっています。逆進性の強い消費税をあげる事より、大企業の法人税や高額所得者の税率をあげていく必要があります。



9月11日～10月5日まで、第3回港区議会定例会が開会し、平成29年度の決算特別委員会が開かれました。

港区の財政状況は、住民が増えることによって、特別区税収入は増えています。

しかし、港区民の1割の方々がふるさと納税制度を利用しているため、本来港区に入るべき税金は、他の自治体へ寄付されています。

港区は30年度より、港区にふるさと納税をしてもらうため、3つの事業を対象に寄付の受付をしています。（お台場を泳げる海に、港区マラソン、運河の橋のライトアップ、その他区の事業）

私は、港区版ふるさと納税制度で、返済不要の給付型奨学金制度を設立していきたいと強い思いで行動しています。

4年前に私が選挙公約とした「子ども食堂」は、NPO を設立し、現在85回の開催をしました。

これからも私は区民の皆さんに寄り添い、『命と暮らしを最優先にする政治』をすすめていきます。

阿部 浩子



**これからも命を大切に政治
をしていきたい。**

第2回
定例会

区長と教育長への本会議質問。
●子どもの未来応援のため、ふるさと納税寄付充当事業の拡大を。●羽田空港飛行ルートの変更について。他



阿部浩子の質問

■□■ふるさと納税制度について■□■

質問①：平成29年中に港区民が、他の自治体にふるさと納税した金額は約84億円。区税収入約32億円が控除され、区の収入は大きく影響を受けている。今年4月から港区版ふるさと納税を開始した。今後寄付を拡大していくための考えは。

答弁：6万2千人に発送した納税通知書に周知するチラシを同封。今後、様々な機会をとらえ、制度の周知をしていく。

■□■ふるさと納税で子どもの未来応援を■□■

質問②：奨学金を借りて、高校と大学に進学し、大学卒業時に約600万円の借金となる場合がある。港区版ふるさと納税で、返済不要の給付型奨学金制度を創設し、真の子どもの未来応援を。

答弁：提案の事業も含めて、ふるさと納税寄付充当事業について検討をすすめていく。

■□■人口推計に伴う施設整備について■□■

質問③：港区の将来人口推計を反映させ、年少人口の増加による保育園、幼稚園、学校の整備、また、高齢者施設の整備、障害者施設の整備など、様々な視点から長期の施設整備計画が必要である。区長の考えは。

答弁：区が自ら整備する手法とあわせて、柔軟な施設整備を推進していく必要がある。時間的な事業展開も可能な民設民営手法や建物の賃貸借等の多様な整備手法を積極的に活用し、区民サービスの充実に努めていく。

■□■LGBT施策について■□■

質問④：昨年度、性的マイノリティの方々の支援に関する調査をインターネットアンケートで行った。調査結果によると、法律婚のカップルが受けているサービスを求めるものがほ

とんどであった。

調査結果をうけ、マイノリティとして苦しんでいる方々を、区として真摯に受け止め、同性パートナーシップ宣誓制度の導入を今こそ進めていくべきである。

答弁：調査結果を生かすため、学識経験者による詳細な分析、人権に関する区民意識調査の結果をふまえ、港区にふさわしい取り組みを検討していく。

■□■中小企業の支援について■□■

質問⑤：港区は1年に4回、港区の中小企業を対象に景況調査を行っている。毎回の課題は、人材不足、人材育成、販路拡大である。課題を解決し、中小企業が活性化していくためのさらなる支援についての考えを伺う。

答弁：他自治体の成功事例を聞き取り調査し、中小企業振興施策の充実に努めていく。



■□■区民の声を行政に

いかに仕組みづくりを■□■

質問⑥：ICTを活用し、区が管理する公園や道路等、地域の課題を、行政と区民で情報共有し、区民協働で解決していく仕組みが必要。

答弁：ICTを活用した広聴方法の拡大に向け検討していく。



ICTの活用先進自治体事例 千葉市のちば市民協働レポート ちばれば



スマートアプリを通じて、道路が傷んでいる、公園の遊具が壊れているなど、市が管理する施設の修繕や補修について、市民が気づいたところをGPS機能を活用し、写真で送るといったものです。

24時間地域の課題を行政と市民で共有し、解決することができます。

■□■災害に備え、区民が『かまどベンチ』を活用できる機会を■□■

質問⑦：港区内に60基設置されている「かまどベンチ」はほとんど活用されていない。防

災訓練等だけではなく、災害が起こった時に、有効に活用できるように、地域の行事など「かまどベンチ」を活用する場の拡大を。



答弁：災害時に有効に活用するため、日頃からの体験が必要。防災訓練以外の町会や学校等が行う地域行事についても「かまどベンチ」の積極的な利用を検討する。

■□■羽田空港の飛行ルートの変更について■□■

質問⑧：飛行機からの落下物事故が発生している。港区の上空を通過することで、落下物の危険性について、区長の考えは。

答弁：今後も国に対し事故の未然防止の取り組みを一層進め、区民の安全・安心や生活環境を守る対策等について、丁寧な説明を尽くすよう改めて強く要請していく。

質問⑨：安全安心に取り組んでいる港区として、2020年飛行ルートの変更については、どう考えているのか。

答弁：国の責任において区民等に丁寧な説明を行い、十分な理解を得て検討をすすめるべきものと考えている。



港区の上空を通る新飛行ルート

羽田・成田空港を世界最高水準の年間100万回の発着に増やすため、2020年に飛行ルートを変更し、都心の上空を飛行させて増便していく計画。南風時に港区の上空、品川駅では450メートルの高さを羽田空港に向けて着陸していきます。

昨年は関西空港のパネル落下事故、沖縄では普天間基地に隣接する小学校にヘリの窓の落下事故、今年5月に熊本空港での機体部品の落下事故が起こっています。

■□■保育の質と保育ニーズについて■□■

質問⑩：区立保育園の保育士の経験年数が平均13.9年。私立認可保育園48園の平均勤続年数は5年以下が20園、一番低い園では1.3年。今年度から区立園長経験者が私立認可園を巡回指導をしている。今後も増加する私立認可保育園の質の

確保と課題についての考えは。

答弁：区は、私立認可保育園の誘致に取り組んでおり、園長経験者である保育士の定期的な訪問の必要性は高まる。私立認可保育園等における保育の質の向上に向け、総合的支援を行っていく。

質問⑪：将来的にも年少人口は増加する。保育園の整備は重要課題であり、区民ニーズの高い一時預かり、病児保育、みなと保育サポート、派遣型一時保育、育児サポートこむすび等、区民の保育ニーズの受け皿整備も計画的に進めていくべき。

答弁：常に保育需要の把握に努め、国、東京都、民間事業者等の理解と協力を得ながら、新しい手法も積極的に導入するなど、待機児童解消に向け、全力で取り組んでいく。

■□■男女平等推進施策について■□■

質問⑫：港区の管理職の割合は女性が17.0%。今後女性の管理職をどう増やしていくのか。

答弁：女性職員の昇任意欲向上と管理職への登用拡大に向け取り組んでいく。



政治分野の男女共同参画推進法が可決

国政や地方議会選挙で候補者を男女均等にしよう政党に促す努力義務。

日本の現状は衆議院で女性議員は10.1%で世界193カ国中158番目です。政策決定の場に女性が少ない実態は、女性の視点が盛り込まれにくい結果につながっています。

1945年女性の参政権獲得から73年、1986年の男女雇用機会均等法から32年、遅れていた政治分野が一歩前進しました。

■□■老朽化しているみなと図書館の整備を■□■

質問⑬：平成34年に三田図書館が新しく開設する。区立5つの図書館のうち、老朽化しているみなと図書館を改修し、地域特性に応じた、魅力ある図書館にしていくべき。

答弁：昭和54年の開設以来、大規模改修等を実施しておらず、建物の老朽化が進んでいる。昨年、建物の劣化診断をした。調査結果に基づき、整備手法を検討し、魅力ある図書館となるように検討していく。



阿部浩子の活動

①「みなと子ども食堂」85回開催

2016年1月からスタートした「みなと子ども食堂」。子どもたちの居場所づくり、食の支援、学習支援を今後も続けていきます。私も栄養士として活動しています。

対象：港区在住の未就学児・小中学生

場所：ありすいきいきプラザ（南麻布）

主催：NPO法人みなと子ども食堂



原則第1、3水曜日開催
子ども食堂 17時30分～19時まで
学習支援 16時～19時



ボランティア・ご寄付のご協力をお願いします。



季節感があるバランスのとれた、野菜たっぷりの献立を作成しています。

② 東京都動物愛護推進員としての活動

港区の動物愛護推進員として、飼い犬や地域ネコ等お困り事の相談をうけています。



③ 出産議員ネットワークの活動

政治分野でも男女平等が進むように出産議員ネットワークで世話人として活動しています。



④ 消防団員としての活動

災害時に備え、消防団員として日頃から訓練をしています。



⑤ 防災士としての活動

4月に東日本大震災で津波被害が大きかった仙台空港、東松島などを視察し、被害状況、復興の歩みについて学んできました。



⑥ 被災地支援活動

駅前で義援金のお願いをしました。



あべひろこ 阿部浩子のプロフィール 社民党所属



- 区民文教常任委員会委員長
- エレベーター等対策特別委員会
- 東京オリンピック・パラリンピック対等特別委員会
- S 43.2.7生、秋田県出身
- 昭和女子大学短期大学部食物科学科卒業、秋田テレビ株式会社、老人保健施設（栄養士）、衆議院議員秘書、H15年初当選、現在4期目
- 栄養士、東京都動物愛護推進員、麻布消防団員、防災士
- NPO法人みなと子ども食堂理事
- 家族：夫、娘（区立小6年）



阿部浩子 育児日記

検索

twitter a_hiroko フォローして下さい。

facebook 「港区議会議員 阿部浩子」にいいね！をお願いします。

※この議会報告の戸別配布はボランティアの方々のご協力をいただいています。状況によって日にちがかかることをご了解ください。また、希望する方には郵送で配布しておりますので是非住所をお知らせください。